



Web ページ番号

5076



## 売れ筋 No.1！コラゲナーゼ

*Clostridium histolyticum* 由来の各種コラゲナーゼです。原材料の原産地証明をご提供できます。

動物由来成分を含まない製品 (Animal Origin Free : AOF) もあります。

### 精製酵素の老舗ブランド “Worthington”

Worthington Biochemical 社は 1947 年設立の米国のメーカーです。1971 年に販売を開始した同社のコラゲナーゼは、活性を十分にチェックした高品質な製品です。

使用実績も多数あり、「コラゲナーゼといえば Worthington」と称されるほど、世界中の研究者から愛用されています。

長年の販売経験から、文献情報や製品情報が充実しており、メーカー Web には使用論文を簡単に検索できる Tissue Dissociation Guide などが用意されています。

[メーカー : WOR]

品名	Collagenase (CDU/mgdw)	Caseinase (U/mgdw)	Clostripain (U/mgdw)	Tryptic (U/mgdw)	商品コード	包装	価格 (¥)
Collagenase Type I	≧125	≧200	≧4.0	≧0.5	CLS1	100 mg	9,000
Collagenase Type II			≧3.5	≧0.1	CLS2	100 mg	9,000
Collagenase Type III	≧100	≧50	≧3.0	≧0.3	CLS3	100 mg	9,000
Collagenase Type IV	≧160	≧100	≧3.0	≧0.1	CLS4	100 mg	9,000
Collagenase Type V	≧450	≧450	≧3.0	≧0.3	CLS5	100 mg	12,000
Collagenase Type VI	≧400	≧1,000	≧4.0	≧0.5	CLS6	100 mg	14,000
Collagenase Type VII	≧1,000	≧2,000	≧8.0	≧0.5	CLS7	100 mg	15,000
Collagenase-A, AOF	≧150	≧150	≧8.0	≧0.1	CLSAFA	100 mg	13,000
Collagenase-B, AOF	≧300	≧300	≧5.0	≧0.5	CLSAFB	100 mg	13,000
Collagenase-C, AOF	≧200	≧150	≧3.0	≧0.1	CLSAFC	100 mg	13,000

〈略号〉 CDU : collagen digestion units, mgdw : mg dry weight

※分散する組織の種類によって細胞分散の最適条件が異なりますので、使用前に最適条件を検討することをお勧めします。

※上記以外の包装もあります。詳細はフナコシ Web をご覧下さい。



Web ページ番号

7142

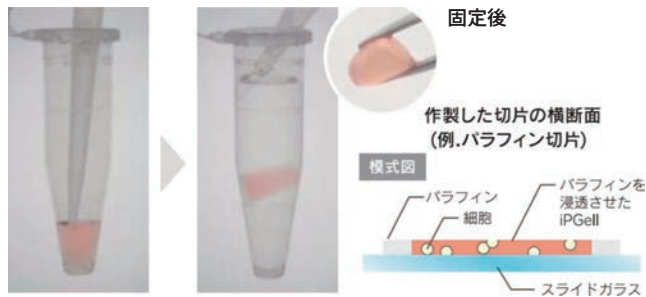


## 細胞浮遊液のゼリー化試薬

培養細胞や微小な組織を生きたまますぐに固定できるので、高感度なパラフィンブロックおよびパラフィン切片が作製できます。

### 操作方法概略

Web に動画あり

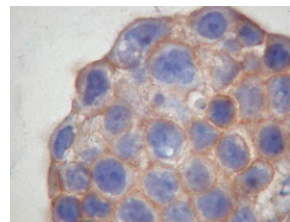


細胞浮遊液に A 液 B 液を順に混ぜるだけで、ただちにゼリー状に固まります。その後、チューブに固定液を加えることで固定できるため、組織と同じ感覚でブロック/切片を作製することができます。

### 固定できる試料の種類

- 胚様体
- 胚盤胞
- 微小組織
- 培養細胞 / 初代培養細胞
- iPS 細胞
- ES 細胞
- 血球細胞 など

### 使用例



#### 3D 培養 (スフェロイド培養) 細胞を用いた発現解析

IHC (既固定凍結切片) (×1,000)  
抗体 (茶色) / 対比染色 (青色)

品名	メーカー 商品コード	包装 / 価格 (¥)
iPGell® (20 テスト分)	GNS PG20-1	1 kit / 45,000

※ご注文についての詳細は、当社受託・特注品担当までお問い合わせ下さい。